

農政だより

第143号

令和8年1月
発行 羽村市農業委員会
羽村市緑ヶ丘5-2-1
電話 042-555-1111



はむら市民と産業のまつり2025「農業後継者クラブによる宝船」（令和7年11月2日撮影）

年頭のご挨拶

羽村市農業委員会

会長 石田 正弘

新年明けましておめでとうございます

昨年は、10月に台風22号・23号が八丈島を相次いで直撃し、甚大なる被害をもたらしました。ビニールハウスや作業場などが全壊や半壊し、また土砂崩れにより水道などのライフラインも被害を受け、自然災害の恐ろしさを実感しました。

このたびの災害で被害を受けられた皆様、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りしております。

羽村市では、はむら市民と産業のまつり2025の農業展で、農産物のチャリティバザーや宝船の即売の売上金を八丈島に義援金として寄付しました。

また、温暖化により、昔のように農業を営むことが難しくなった今日この頃です。

今年もいろいろなことがあるでしょうが、皆さま方が、ご健康で良い農業ができますように、ご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



西多摩農業協同組合
代表理事組合長

中村 勝司



「二期一会」と協同の輪

令和7年の6月より西多摩農業協同組合の代表理事組合長となりました、中村勝司と申します。

皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

私は以前、羽村市の農業委員として活動しており、羽村市の農地保全を考え日々の業務にあたっております。

そのような経験を持つ中で、西多摩農業協同組合の代表理事組合長となり、業務を行う中で感じたのは地域の違い、そしてそれによって求められる視野の広さです。隣接している地域同士でも、ひとつ境界を跨げば取り組み方が変わってくるのです。

西多摩農業協同組合の管内には、羽村市・福生市・瑞穂町があり、それぞれ都市状況に応じた農地保全があります。そのすべてに目を配り、全ての組合員のために貢献していくことが求められていると実感しております。農業協同組合の役割は、地域とともに未来を築き、農業者全体の力を高めていくことにあります。私は「農業者の底上げ」を掲げ、若手や後継者の育成を最重要課題としています。研修や現場での実践機会を通じて技術力と経営力を磨き、次世代が安心して農業に取り組める環境を整えることを目指しています。さらに、スマート農業の導入や機械の共同利用を進めることで、小規模農家でも効率的な経営が可能となる体制づくりを推進しています。販路拡大に向けては、地域資源を活かした六次産業化やブランド化、直販の強化を進め、消費者との交流を深めることで付加価値を高め、農業者の所得向上につなげたいと考えています。

こうした取組は、農業を単なる生産活動にとどめず、地域社会全体の活性化へと広げていくものです。

また、行政や関係団体との連携による支援体制の整備や、災害時の備えも重要課題として位置づけています。農業協同組合として、人材育成・情報発信・経営支援を一体的に進めることで、地域と農業者が共に成長できる仕組みを築き、未来志向の取り組みを通じて持続可能な農業を実現し、地域経済の発展に貢献していく所存です。

末尾になりますが、昨年は夏が暑く、さらに、少雨という事もあり、農業を行うにも、非常に厳しい状況だったと思います。また、西多摩も都市化が進んでおり、住宅に囲まれた中で、畑作業を強いられるようになってきました。そのような中でも、少しでも皆様の農業をバックアップできるよう頑張っていきますので、今後とも西多摩農業協同組合をよろしくお願いいたします。



石田会長と中村組合長

「普及センター」から

はむら市民と産業のまつり2025 農業展農産物共進会審査講評

はむら市民と産業のまつり農業展農産物共進会が盛大に開催されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

令和7年の天候を振り返りますと、年明けから平年値を上回る気温となり、特に7、8月の平均気温は平年より2、3℃高くなり、統計史上最も暑い夏でした（青梅市）。9月、10月は気候が落ち着き例年並みとなりました。また、降水量は7月に降雨がほとんどない状況が続き、8月まで高温乾燥条件が続きました。9月以降は降雨も増え、秋野菜にとって恵みの雨となりました。大きな台風被害はなかったものの、真夏に播種、定植の野菜に関して大変なご苦労のある年でした。

このように今年も高温や乾燥など極端な気象条件でしたが、みなさまのご尽力もあり共進会の出品点数は167点と、前年の出品点数166点より1点多くなりました。厳しい栽培環境の中でも数多くの良品がみられ、あらためて、皆様の栽培管理に対する熱意に敬意を表し、以下に審査講評を述べさせていただきます。

【野菜の部】（98点）

根茎菜類 17点

・だいこん（4点）

高温の中での種播きとなり、難しい作型での出品でした。全体的に根部の肥大のよい良品が出品されていました。中でも、肌に病害虫被害がなく、曲がりの少ないものを上位といたしました。

・さつまいも（9点）

例年よりも出品数の多い年となりました。肥大、形状の良いものが多数ありました。均一に肥大し、発色、形状が特に優れたものを上位といたしました。

・かぶ（4点）

どれも肌がきれいで毛穴が浅く、肩部の緑化の目立たないすばらしいものでした。秀品が並ぶ中、特に形状と揃いに優れ、肌の状態がよいものを上位といたしました。

葉菜類 27点

・はくさい（3点）

3点の出品でしたが、いずれも病虫害がなく、結球もしっかりしたものでした。特に重量感のある揃いに優れたものを上位といたしました。

・きやべつ（8点）

今年は定植時期に降雨がなく、栽培自体が難しい年でした。そのような中でも、しっかり葉が巻いた良品が出品されていました。全体的に病害虫被害が少ない中、特に形状、揃いに優れたものを羽村市長賞といたしました。外葉が多いものがありましたので、ご注意ください。

・玉ねぎ（2点）

玉ねぎはサイズの大きいものが出品されており、揃いもよく丁寧調整された良品でした。

・カリフラワー（2点）

2点とも花蕾の大きいものでした。色とドームの形状に優れたものを上位といたしました。

・ブロッコリー（5点）

キャベツ同様、定植のタイミングが難しい年でした。栽培が難しい気候条件の中、花蕾が緻密で、盛り上がりもあり、ドーム状のきれいな秀品を上位といたしました。調整は全て丁寧に行われていました。

・ホウレンソウ（1点）

1点の出品でしたが、葉が厚く、葉色のよい良品でした。茎の部分が調整時に傷ついていましたので、ご注意ください。

・チンゲン菜（3点）

尻部の張りが良く、葉柄のツヤもあり、病害虫被害のない良品でした。

・レタス（1点）

1点の出品でしたが、しっかりと結球した形状のきれいなもので、みずみずしい秀品でした。

・ニラ（2点）

緑色が濃く、葉に厚みのある良品でした。

果菜類 54点

・きゅうり (11点)

光沢があり、形状のよいものが多数出品されていました。その中でも、太さが均一で形状に優れ、真つ直ぐで、揃いがよく、光沢のあるものを上位といたしました。サイズがやや大きいものがありましたのでご注意ください。

・ナス (11点)

果皮の光沢が出にくい時期ですが、肥大や形状のよいものが多数ありました。へたまで病害虫被害がなく、形と揃いにおいて特に優れたものを産業労働局長賞といたしました。

・トマト (5点)

いずれも熟度がよく揃い、裂果のないすばらしい秀品でした。へたまわりまできれいで、揃いがよいものを上位といたしました。

・ピーマン (20点) ・パプリカ (2点)

いずれも光沢があり、病虫害等もみられない良品ばかりでした。このうち、果実に張りがあり、緑色濃く、光沢と揃いの優れたピーマンを東京都知事賞といたしました。パプリカは、形状と揃いが良好で果皮がきれいなものを上位としました。

・青トウガラシ (4点)

形状の揃った良品が出品されていました。

・青パパイア (1点)

肌がきれいで、鮮やかな緑色のものが出品されていました。

【果実の部】 (11点)

・かき (5点)

果実の肌やへたがきれいで、揃いに優れたすばらしい甘柿を羽村市長賞といたしました。

・みかん (2点)

比較的薄皮で、適度に扁平で揃いに優れているものを上位といたしました。

・ゆず (3点)

病害虫被害が少なく、果皮がきれいなものを上位といたしました。

・その他レモン (1点) の出品がありました。

【花きの部】 (58点)

・パンジー (21点) ・ビオラ (14点)

・シクラメン (9点)

パンジー、ビオラは花の配色の異なるものが多数出品されていました。

東京都知事賞のパンジーは、大輪を咲かせ、株が良く締まったものの中でも、特に揃いが優れたもので、羽村市長賞のパンジーは、各色で花や蕾の数が充実し、揃いも良いものでした。

東京都農業振興事務所長賞のビオラは、開花揃いが良く、花数も多く、株のボリュームに優れたものでした。全体的に病害虫被害が少なく、栽培技術の高さが伺えました。東京都農業振興事務所長賞のシクラメンは、葉組み等の手入れが丁寧な施されていたものの中でも、特に花や蕾の数が多く、揃いの良いものでした。僅かではありますが、葉焼け等が確認されましたので、管理にご注意をお願いいたします。

また、葉ボタンは、苗物と鉢物を合わせて8点出品されました。夏季の高温及び秋季の低温遅延により管理が難しい環境下でしたが、発色が良いものが多数あり、中でも揃いの良いものを上位としました。

その他、ナデシコ (3点)、ストック、アリッサム、シルバーレース (各1点) の出品があり、株が締まっており、草丈等の揃いが良く、花数の多いものを上位としました。

入賞された皆様に心よりお祝い申し上げますと共に、共進会に参加された全ての方々の努力に敬意を表します。

〔問い合わせ先〕

東京都西多摩農業改良普及センター
電話 0428 (31) 2374

各種研究集会・視察への参加



9月18日に、調布市で開催された農業委員会会長職務代理研究集会に職務代理と事務局が参加し、調布市の農業委員会活動等について説明を受け、圃場の見学をしました。

10月9日～10日には、神戸市で開催された農業委員会会長研究集会に会長と事務局が参加し、神戸市の農業の概要や生産緑地等の状況について視察を行いました。10月22日には、都市農地流動化現地見学会に会長、担当委員と事務局が参加して日野市と稲城市の圃場見学をしました。

援農ボランティア交流会

10月11日、援農ボランティアと受入農家による交流会が開催されました。雨が降って寒い一日でしたが、バーベキューを楽しみながら、皆さんの日ごろの活動について発表していただきました。夏の猛暑の中での作業の話や、活動を通しての喜び、今後の目標など、皆さんの話が聞けて、楽しい交流会になりました。



農地現地調査

10月24日、農業委員と農業委員会事務局、都市計画課が2班に分かれて農地現地調査を行いました。調査の結果、管理不十分と判断された農地については、所有者へ適切な管理をお願いしました。相続税納税猶予制度の適用農地で、耕作放棄と判断された場合、猶予が打ち切られ、元本だけでなく利息も含めて支払うよう税務署から求められることになってしまいます。農業委員会では、今後も管理不足農地「ゼロ」に向け取り組んでいきます。

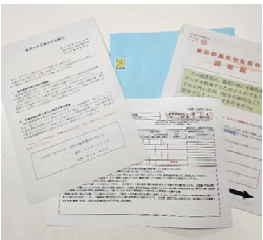


農家（農地）基本台帳及び経営農地等所有状況調査について

「農家（農地）基本台帳」及び「経営農地等所有状況」を配布します。記入例を参考に記載していただき、ご提出ください。「東京都農作物生産状況調査」及び「生産緑地の貸し借りに関する意向調査」も同封しますので、ご回答をお願いします。

回収につきましては、返信用封筒を同封しますので、記入後は郵送での提出をお願いいたします。

提出期限
令和8年1月9日(金)



～～～羽村市農業委員会候補者の募集～～～

現在の農業委員の任期が令和8年7月19日をもって満了することに伴い、農業委員を募集します。詳しくは、「広報はむら1月15日号」に掲載します。

【編集後記】

今年は、クマによる人身被害が過去最悪の状況になっていきます。全国各地での死亡者数は、十三名と一昨年の六名の二倍以上となり、負傷者数は、二百名に近づきこれも過去最多の数となっています。私が所属している商業協同組合では、毎年十一月中旬に家族従業員慰安旅行を実施していますが、今年は群馬県沼田市の東洋のナイアガラと言われている吹割の滝に行く予定でしたが、十月中旬に滝付近でクマが目撃されたという事で目的地を変更せざるを得ませんでした。紅葉シーズンでもあり各地の土産物店や宿泊施設等の経済的損失はかなりの額になると思われまます。

最近になって自衛隊や警察がその対応にあたる事になったようですが、早くクマが冬眠してこの最悪の事態が収束することを願うばかりです。

(四記)

【編集委員】

宮川篤、井上淳孝、阿部慎也
下田壯、宮本健司

【事務局】

羽村市農業委員会事務局
(産業環境部産業振興課農政係)